

# 呉市生活支援等サービス体制整備事業の取組について

呉市社会福祉協議会

## 1 目的

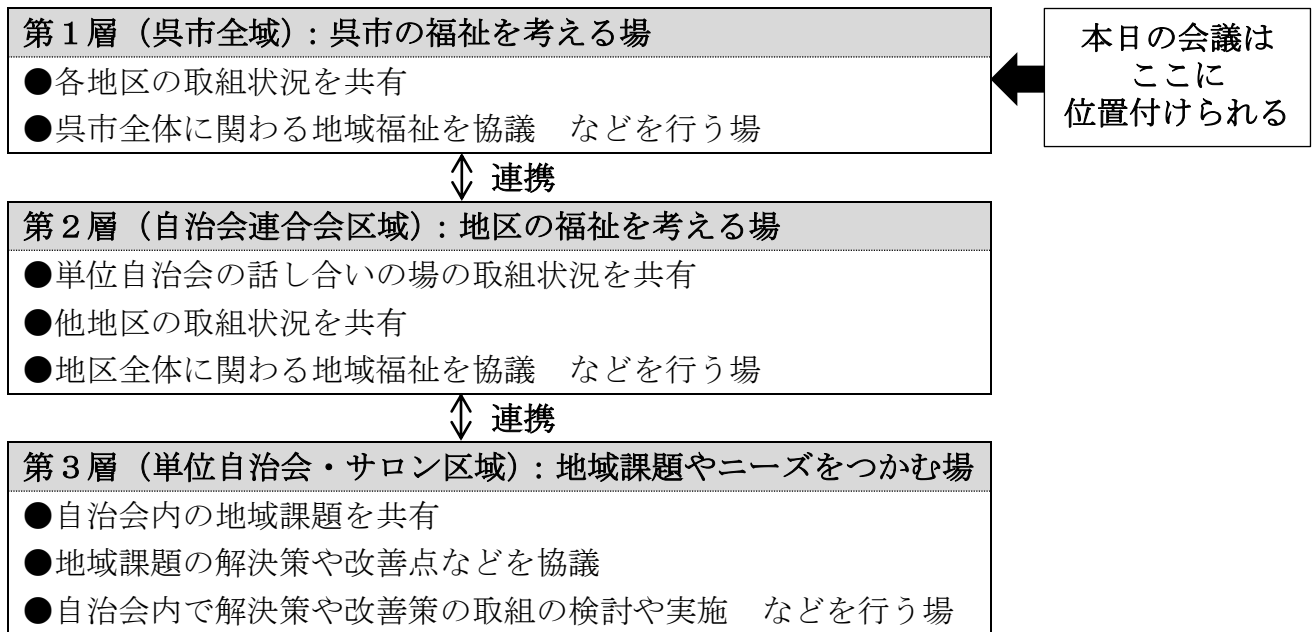
単身や夫婦のみの高齢者世帯，認知症の高齢者が増加する中，医療，介護サービスの提供のみならず，住民に身近な存在である市が中心となって民生委員，老人クラブ，地区社会福祉協議会，シルバー人材センター，NPO法人，市社会福祉協議会，社会福祉法人，介護サービス事業所，民間企業，協同組合，ボランティア，地縁組織，商工会等の生活支援サービスや介護予防サービスを担う事業主体と連携しながら，多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の促進を一体的に図っていく。

<p><b>大きな「ねらい」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の高齢者が支え合い活動などへ社会参加することを促す</li> <li>●地域の支え合い活動などを充実・強化・創出する</li> <li>●その地域ならではの支え合いの仕組みづくりを推進する</li> </ul>	}	<p>まとめると <b>互助による 生活支援の 仕組みづくり</b></p>
--	---	--

## 2 推進体制

### (1) 協議体（話し合いの場）

住民自身が主体的に地域のことを考え，地域の夢（将来）を描き，思いを共有する場。呉市では3つの階層をつくとともに，住民主体の取組の活性化を図るため，第3層からのボトムアップを目指している。



(2) 生活支援コーディネーター

協議体メンバーと協働しながら、暮らしの中にある様々な知恵や工夫などを見つけ出し、意味づけし、周囲に見える化（住民主体の活動広報チラシ、くれ福祉のお役立ちサイト「しとってクレ」及び広報紙「ずっと元気でおってくれ」への掲載など）をする。人と人、人と場、人と支援・情報などさまざまなものをつなぎ、ネットワークをつくる調整役。

3 平成27年度（事業開始）から令和4年度までの成果

(1) 協議体の組織化状況

別紙1を参照

(2) 令和4年度の協議体活動実績

	中央	天心・吉浦	昭和	宮原・警固屋	東部	川尻・安浦	安芸灘	音戸・倉橋	計
<b>第2層協議体</b>									
設置か所	1	2	1	2	4	1	2	2	15
会議開催回数	0	0	0	6	3	1	2	0	12
<b>第3層協議体</b>									
設置か所	6	6	1	5	18	6	4	4	50
会議開催回数	11	10	0	5	51	10	19	3	109

※新型コロナウイルス感染症拡大により開催延期・中止または住民主体の課題解決能力が向上し、協議体を必要としない取組あり。

(3) 協議体で話し合い、創出された住民主体の活動

ア 見守り合い活動（15か所）

イ ふれあい・いきいきサロンなどの居場所づくり（6か所）

ウ ゴミ出しやちょっとした困りごとの生活サポート（1か所）

エ 社会福祉法人と連携した買い物移動支援（1か所）



▲見守り合い活動



▲居場所づくり



▲生活サポート



▲買い物移動支援

#### 4 本日、委員の皆さまと一緒に考えたいこと

生活支援コーディネーターは、第2層及び第3層協議体会議のみならず、ふれあい・いきいきサロンや地域のさまざまな行事に参加しながら、地域住民の声を拾ってきました。その中でも、生活に直結する「買い物」に不安を感じている人が多くいることがわかりました。

##### (1) 不安を感じている具体的な内容

<b>買い物するための移動の不安</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・加齢によるさまざまな機能低下を懸念し運転免許証を返納したいが、車がないと生活に支障をきたすため、<b>返納することを躊躇う。返納後は、今住んでいるところで暮らすことは難しい</b>と感じている。</li><li>・<b>ご近所さんの車に同乗させてもらっているが、ご近所さんも高齢のため、ずっとお願いすることはできない。</b></li><li>・<b>車での生活に慣れているため、バスの利用方法に戸惑う。</b>またバスのステップが高いため、荷物を持っていると余計に乗り降りに時間がかかるため、乗客が多い時間帯は避けている。</li><li>・年金で生活を営んでいるため、毎回の買い物にタクシーを使うことは難しい。</li><li>・自宅付近が急峻な道のため、タクシー運転手から乗車を拒否されることがある。</li></ul>
<b>買い物後の持ち運びの不安</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・バスを降りた後、自宅まで<b>買ったものを運ぶことができない。</b></li><li>・自宅付近が急峻な道・階段のため、ドアツードアでタクシーを利用することができず、降車後に重いもの・大きいもの（例えば、お米、トイレットペーパーなど）を運ぶことが難しくなっている。</li><li>・ご近所さんが必要なものを買ってきてくれるため、今は何とか生活できているが、お互いに高齢のため、継続は難しい。</li></ul>
<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・スーパーなどの移動販売車を利用しているが、ほしいものは売り切れていることもある。</li><li>・移動販売車に継続して来てもらうために unnecessaryなものも購入している。</li><li>・<b>生協やネットスーパーなどは便利だと思うが、注文方法が難しい。</b></li></ul>

##### (2) 買い物で得られる効果

###### ア 運動機能の向上

店まで移動する身体機能、店内を移動する下肢機能、商品を手にとったりお金を受け渡したりするなど

###### イ 認知機能の向上

購入するものや商品棚の位置を覚えておく、予算に合わせて購入するなど

###### ウ 心の豊かさの増進

自ら選択する機会をつくることで欲求が生まれ、意欲が生まれるなど

(3) 生活支援コーディネーターが考えた取組案

3 ページ(1)(2)を受けて、5年後10年後も安心して住み慣れた場所で暮らし続けることができるよう、高齢者自身も将来に備え、元気な“今”からできること、これまでのようにご近所さん同士のつながりを大切にしながらも、特定の個人にだけ負担がかからないことをポイントに取組案を考えました。

<b>ア 元気なうちから乗り慣れよう！バスでお買い物ツアー</b>
バスの乗り方・支払い方法まで伝達・サポートし、実際にバスを利用して買い物に行くことに慣れることで、運転免許証返納の時期に備える。
<b>イ お手伝いタクシー</b>
タクシー利用者のうち、希望者に対しタクシー運転手がサービス提供を行う（例：店内の同行、買い物代行、タクシー降車後に自宅まで荷物を運搬。費用は要検討）。また、隣近所の住民同士で乗り合わせることで、一人あたりの利用料金を安価にする。 ※市内のタクシー会社が店内の同行や買い物代行のサービスを提供しているが提供エリアが限定されている
<b>ウ お買い物サロン</b>
つどいの場の中で、生協やネットスーパーなどの注文を得意な人が担い、取りまとめて注文することで、安価な送料で利用できる。また、1袋当たりの内容量が多いものは、参加者で小分けにすることで一人暮らしの人も必要な分だけ購入することができる（フードロスの効果あり）。
<b>エ スーパー・企業などの移動販売車・送迎車の経路拡大</b>
自宅から近い場所で購入することができる。
<b>オ 呉市福祉タクシー乗車券の対象者拡大</b>
外出を促すことができる。

上記の取組のうち、「ア 元気なうちから乗り慣れよう！バスでお買い物ツアー」「イ お手伝いタクシー」「ウ お買い物サロン」について、所属する団体ができること、取り組みそうなことを協議します。

<b>協議のポイント</b>
①所属する団体で現在、取り組んでいること ②所属する団体で、これから取り組むことができること ③所属する団体だけでは取り組むことができないが、他団体（具体的に）と連携することで実現可能な取組

# 「元気なうちから乗り慣れよう！バスでお買い物ツアー」

資料1-2

## 趣旨

心身ともに元気なうちからバスの利用に慣れることができるよう、乗り方をお伝えしたり、実際に利用して買い物に行くことをサポートしたりして、自家用車以外の移動手段を確保し、安心して運転免許証の返納を検討できる環境を整える。

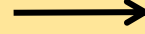
### 生活支援コーディネーターが把握した地域の声

- ・ 車がないと買い物にも病院にも行けない地域に住んでいるため、**運転免許証を返納することを躊躇う**
- ・ 路線バスに乗ったことがなく、**利用方法が分からない**
- ・ 移動販売や生協も利用するが、刺身などの生鮮食品は**自分の目で見て選びたい**
- ・ 年金で生活を営んでいるのため、毎回の買い物にタクシーを使うことは難しい



### イメージ図

サポート役が付き添い、  
集合場所から乗車  
バスの乗車をサポート



交通系ICカード  
発行の付き添い  
サポート



お買い物後もバスを  
利用して帰宅  
帰りは各自最寄りの  
バス停で降車



### 効果

- ・ 自家用車以外の移動手段が確保できるため、安心して運転免許証を返納することができる
- ・ バス停まで歩く、乗り降り足で足をあげるなどの動作により、下肢筋力の維持が期待される
- ・ バスの優待利用制度を利用すれば、経済的な負担が軽減される



# 「お手伝いタクシー」

## 趣旨

複数人でタクシーを利用し、希望者に対しタクシー運転手等がサービス提供を行う。

### 生活支援コーディネーターが把握した地域の声

- ・ 車での生活に慣れているため、**バスの利用方法に戸惑う**
- ・ 荷物を持っていると、乗り降りに時間がかかるため、**乗客が多い時間帯のバス利用は避けている**
- ・ 年金で生活を営んでいるため、毎回の買い物にタクシーを使うことは難しい
- ・ 自宅付近が急峻な道で、タクシー運転手から**乗車を拒否される**ことがある
- ・ 高い位置の商品に手が届かない、商品の置き場がわからないなど、**一人での買い物に時間がかかる**



## イメージ図

- 各戸巡回型  
(個人宅)



店内  
(サポート)



車から自宅まで  
荷物を運搬  
(サポート)



- 拠点集合型  
(自治会館等)

乗り降り  
(サポート)



自治会館等



自治会館等から  
自宅まで荷物を  
運搬 (サポート)



## 効果

- ・ 難しいところをサポートしてもらうことで、安心して買い物ができ、外出の機会も増える
- ・ 欲しい物を見て選ぶことができる
- ・ 乗車代が安価になる



# 「お買い物サロン」

## 趣旨

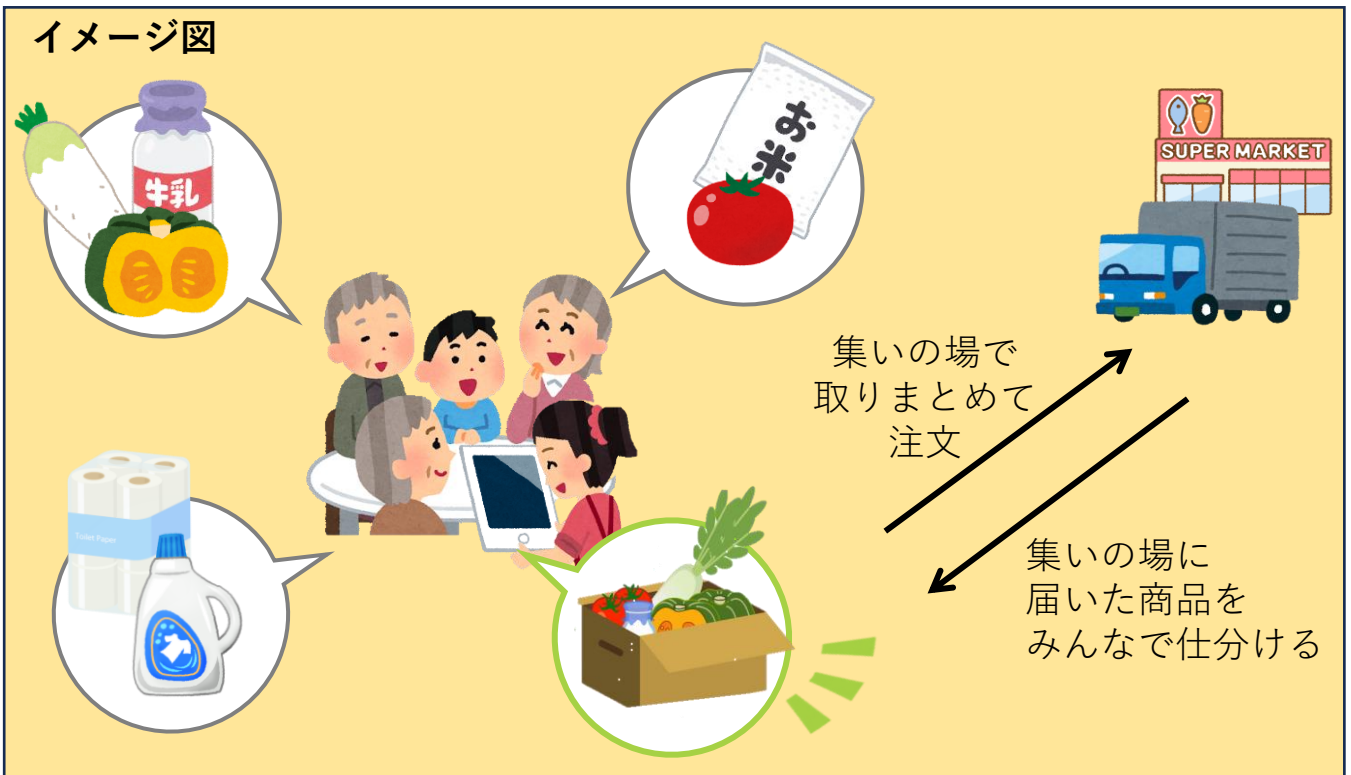
集いの場を活用し注文をとりまとめ生協やネットスーパーなどで共同購入する。届いた商品は注文者みんなで仕分けをする。

## 生活支援コーディネーターが把握した地域の声

- ・一袋当たりの数量が多く**使いきれない**ことがある
- ・安くて新鮮なものがいいけど、1個だけ買うと割高になる
- ・スーパーまで距離がある場合、**購入したものを持ち運ぶことが難しい**
- ・**注文販売は便利だ**と思うが、ITに慣れていない世代は**使いこなすことが難しい**
- ・送料が無料になるよう購入すると、一人暮らしでは**使い切れない**こともある



## イメージ図



## 効果

- ・一袋当たりの数量が多い場合は、ほかの人とシェアすることで新鮮なうちに使い切ることができる
- ・購入した野菜などがきっかけとなり、献立のレパートリーが増える
- ・認知症の早期発見（何度も同じものを購入しているなど）



呉市生活支援・介護予防サービス体制整備推進協議体会議（令和6年2月2日開催）  
事前提出シートまとめ「買い物支援に係る取組」

① 所属する団体で現在、取り組んでいること
取組ア バスでお買い物ツアー
◆呉市地区社会福祉協議会会長連絡会議（宮原地区社協） 以前、買い物弱者について調べましたが、特に希望がありませんでした。
◆呉市社会福祉協議会 第3層協議体会議から創出された買い物の取組の支援（2地区）
取組イ お手伝いタクシー
取組ウ お買い物サロン
② 所属する団体で、これから取り組むことができること
取組ア バスでお買い物ツアー
◆呉市老人クラブ連合会 要検討
◆呉市シルバー人材センター 従来、家事援助（買い物同行）は請負っているため、ツアー参加者に同行し荷物を持ったり、自宅まで運ぶことは可能と思います。ただし、金銭等の紛失の事故を防ぐため金銭の管理や代金の支払いは参加者ご自身で行って頂くことが条件となります。
取組イ お手伝いタクシー
◆呉市老人クラブ連合会 要検討
◆呉市地区社会福祉協議会会長連絡会議（宮原地区社協） エブリィに徒歩で買い物に行く人が多い
取組ウ お買い物サロン
◆呉市老人クラブ連合会 要検討
◆呉市地区社会福祉協議会会長連絡会議（宮原地区社協） 宮原10丁目上道路車庫で野菜（100円／袋）を販売しているが、多くの人が利用している
◆呉市社会福祉協議会 IT活用のためのタブレットやスマホ講座



③ 所属する団体だけでは取り組むことができないが、他団体（具体的に）と連携することで実現可能な取組

取組ア バスでお買い物ツアー

◆呉市老人クラブ連合会

要検討

◆呉市社会福祉協議会

施設連と連携し、サポート役やバス会社運転手へ高齢者の特性やサポート方法を伝える講座の開催

◆中央地域包括支援センター・呉市介護支援専門員連絡協議会

介護（予防）サービスに（介護予防）訪問介護を位置付け、訪問介護員が同行することは制度上可能。ただし、援助時間の縛り（1時間程度）があるため、訪問介護事業所は対応不可であるのが現状。

◆音戸・倉橋地域包括支援センター

音戸倉橋圏域の中でも特に過疎が進んだ地域は、生活バス（マイクロバス）が日に3本程度で、利用率も低い。ならば、広電バスへのつなぎだけではなく、買い物バス機能を付加しスーパーに直付けとかだったら可能かもしれない。

取組イ お手伝いタクシー

◆呉市老人クラブ連合会

要検討

◆呉市社会福祉協議会

施設連と連携し、サポート役やタクシー運転手へ高齢者の特性やサポート方法を伝える講座の開催

◆音戸・倉橋地域包括支援センター

カーシェアリングに関する政府の動きを注視しながら可能性を模索していきたい

◆中央地域包括支援センター・呉市介護支援専門員連絡協議会

タクシー業者（運転手）に高齢者の特性や声かけや介助方法を説明する事は検討可能。

取組ウ お買い物サロン

◆呉市老人クラブ連合会

要検討

◆中央地域包括支援センター・呉市介護支援専門員連絡協議会

通いの場に集まる高齢者同士で相互に補完しながら生協等の発注、発注量の事前確認を行う事は検討可能。

#### 4 取組ア～イ以外に取り組みそうなアイデア

##### ◆呉市地区社会福祉協議会会長連絡会議（宮原地区社協）

道路が狭いので、お手伝いタクシーなら利用される人もあるかと思います

##### ◆商工会議所

- ・いずれにしても、隣近所の助け合いが一番大切だと思います。  
買い物サロンのことをされているのは、聞いたことがあるし、近所の人の車で一緒に買い物に行くというのもよく聞く。
- ・会員組織であるため直接的な取組の実施は難しいが、取組の方針等が決まった場合に協力要請などの声かけをすることは検討可能

##### ◆呉市社会福祉施設連絡協議会（社会福祉法人同済義会 温養院）

- ・各福祉施設が所有している公用車で使用していない時間帯に地域及び自治会への買い物支援に貸し出すことは可能と思います。
- ・デイサービスセンター利用時に移動店舗（生協ひろしま等）が事業所に来て、買い物を送迎時に送り届けることも可能と思います。

##### ◆広島県訪問介護事業連絡協議会広島南ブロック

介護保険や障害福祉サービスで買い物支援は本来業務で可能。ただし、取組案のような利用者本人と一緒に買い物に行くことは難しいが実費等による法定外サービスの提供であれば可能性あり。

##### ◆音戸・倉橋地域包括支援センター

- ・当該圏域で増えている外国人労働者を登録し、シルバー人材センターみたいなことを行う（ベトナム人材センター、フィリピン人材センター）
- ・当該圏域のさらに僻地（特に倉橋地区）には、介護サービス難民が出始めている（たとえば本浦地区より西側は訪問介護サービスを利用するのは現状無理）。たとえば地区社協か社協支所が調整役となった、訪問Bを地域限定で立ち上げる。

##### ◆中央地域包括支援センター・呉市介護支援専門員連絡協議会

要支援・要介護認定者に適切なケアマネジメントを実施したうえで、電動カート（福祉用具貸与）を検討する余地はある。（ただし、高齢者に認知機能に問題がなく、安全に操作ができる、屋根付きの保管場所があるなどの条件あり）

老人クラブの活動

健康づくり活動	健康・介護予防の学習
	体力測定
	料理教室
	体操
	ウォーキング
	スポーツ
友愛活動(高齢者相互支援)	安否確認・声かけ活動
	友愛訪問
	サロン活動の実施・協力
	情報伝達
	高齢者施設等への支援活動
	日常生活を支援する活動 (簡単な屋内外仕事・ごみ出し・薬の受け取りや買い物代行など)
奉仕・ボランティア活動	清掃活動
	花いっぱい・緑化活動
	リサイクル・資源ごみ回収活動
学習・趣味・親睦活動	学習活動
	情報機器を使用
	研修旅行・社会見学
	親睦旅行
	誕生会
	新年会・忘年会・花見会
	趣味等のサークル活動
地域活動	世代間交流活動
	地域(子ども)登下校見守りパトロール活動
	悪質商法等, 消費者被害防止の取り組み
	交通安全等, 事故防止の取り組み
	防災に向けた取り組み
	地域行事への参加
	自然保護・環境保全の取り組み
生産・伝承活動	農産物の生産活動
	昔の遊びの伝承
	郷土芸能や祭りの伝承
	郷土史・生活史の伝承